

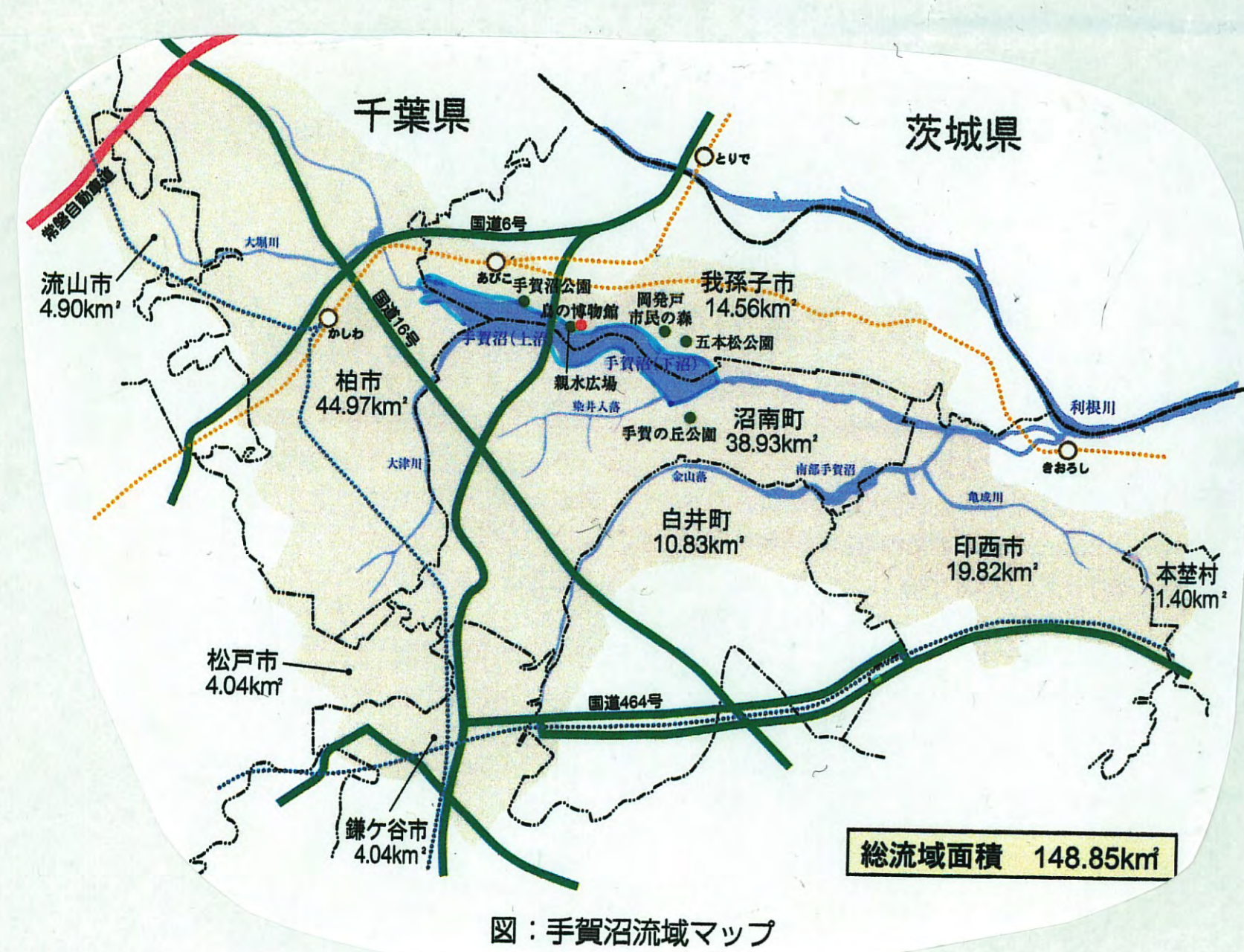
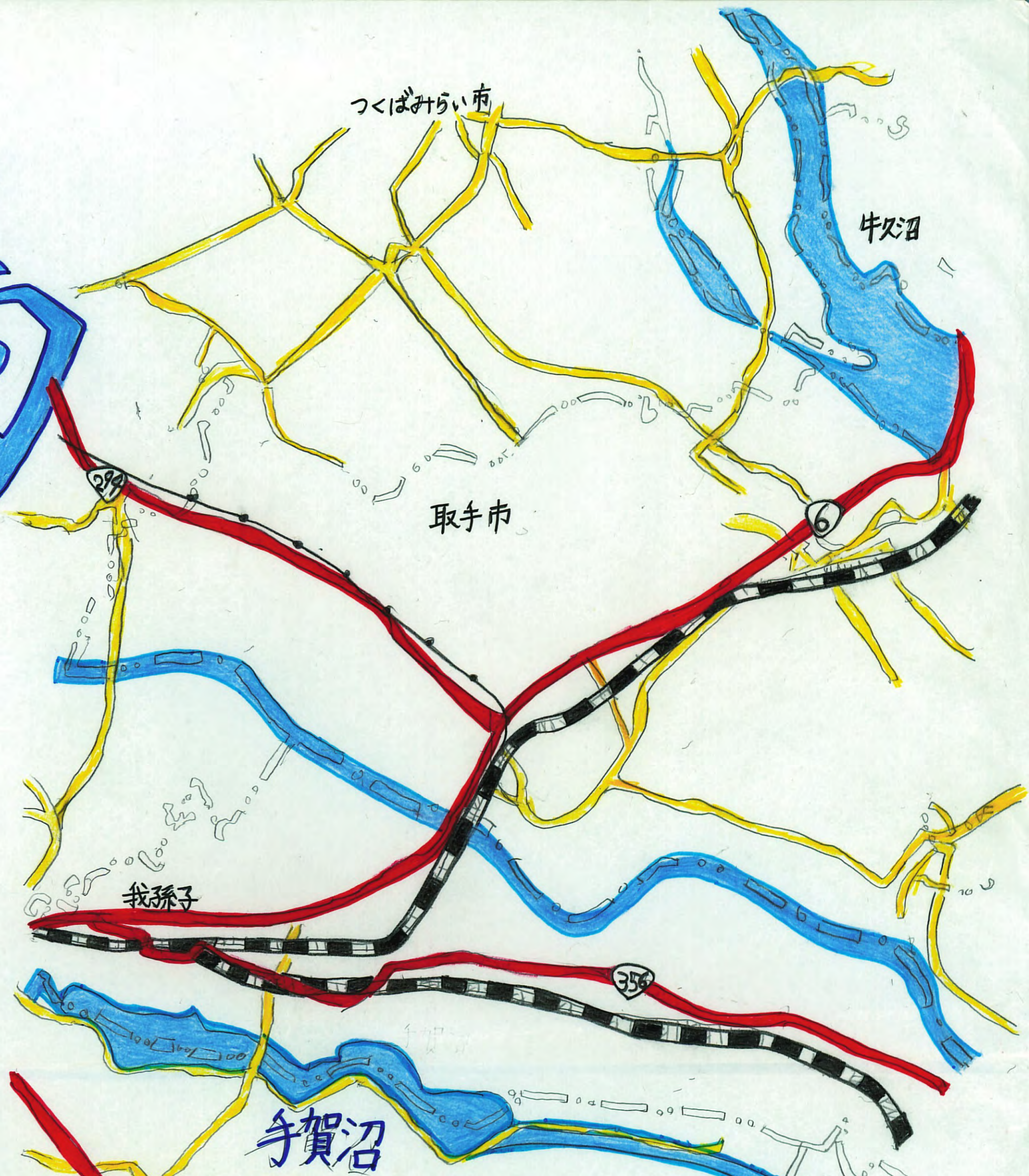
手賀沼の鳥

手賀沼はこんな沼

手賀沼は、関東平野のちよと真ん中に位置する沼です。利根川に沿って多数の湖沼群が点在していますが、手賀沼もその一つです。関東平野という人口密集地の真ん中にあるので、手賀沼は水質が汚濁しやすく、昭和49年以來現存まで、日本全国の湖沼の中で汚濁度ワースト1の沼です。しかし手賀沼にはまだまだ多くの野鳥が生息していて、首都圏にすむ人々にとって手頃な探鳥地です。

「調べた理由」

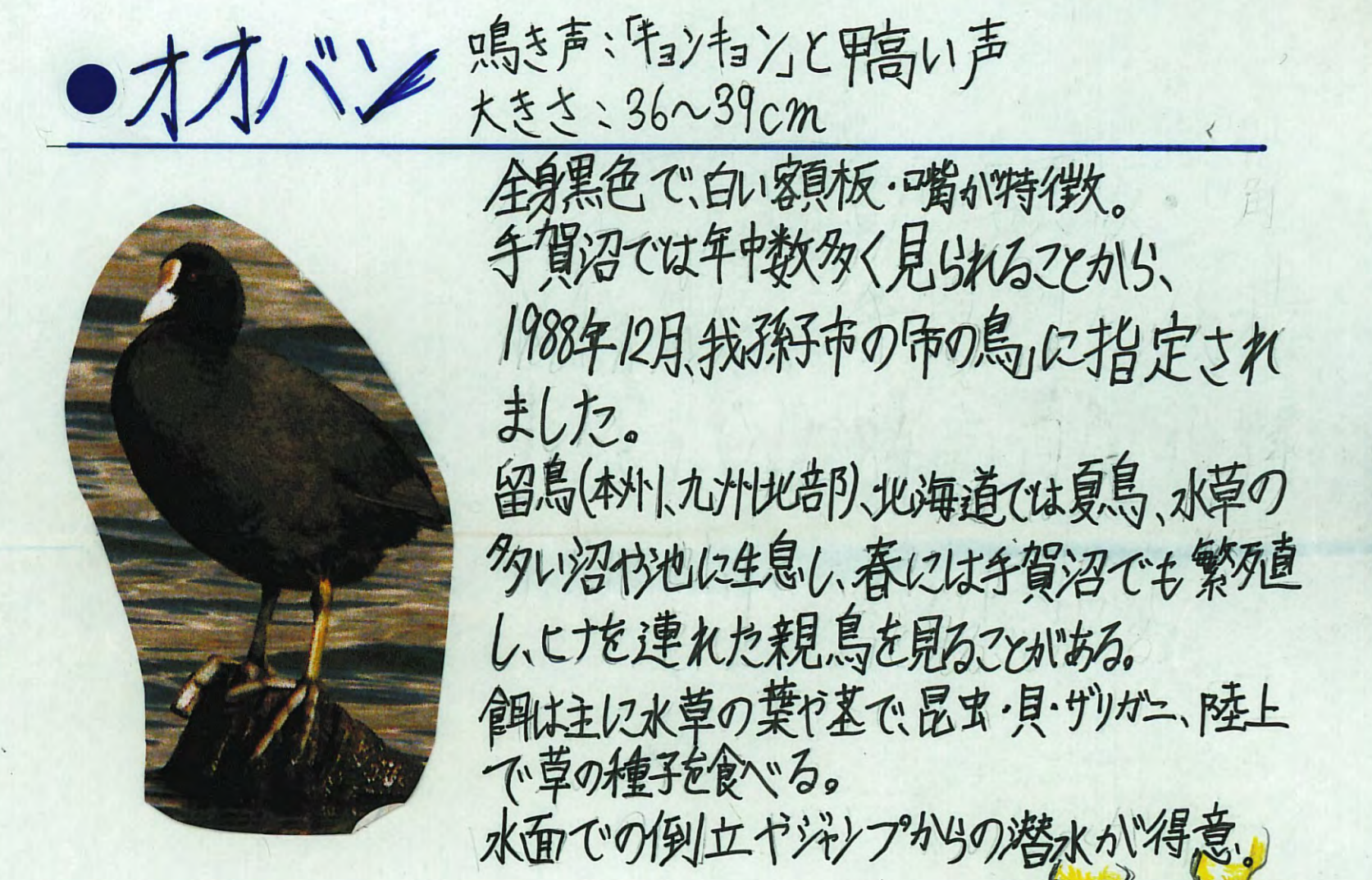
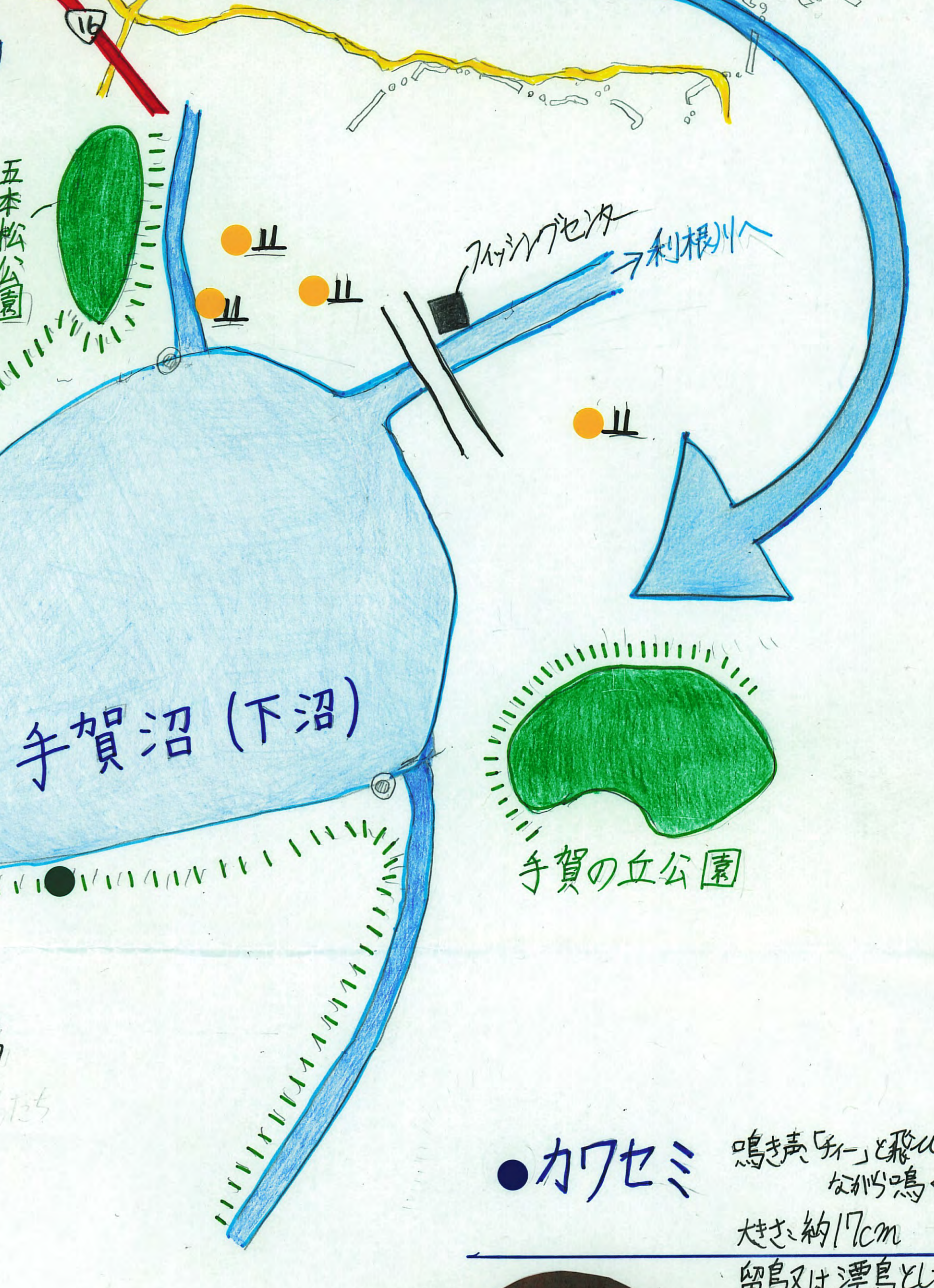
ほぼ手賀沼に水面を素早く走る鳥を見ました。その鳥について調べると、オオバンという鳥であることがわかりました。ほぼ手賀沼にこの珍しい白い鳥がいることも知り、手賀沼に生息する鳥に興味を持ち、調べたいと思いました。



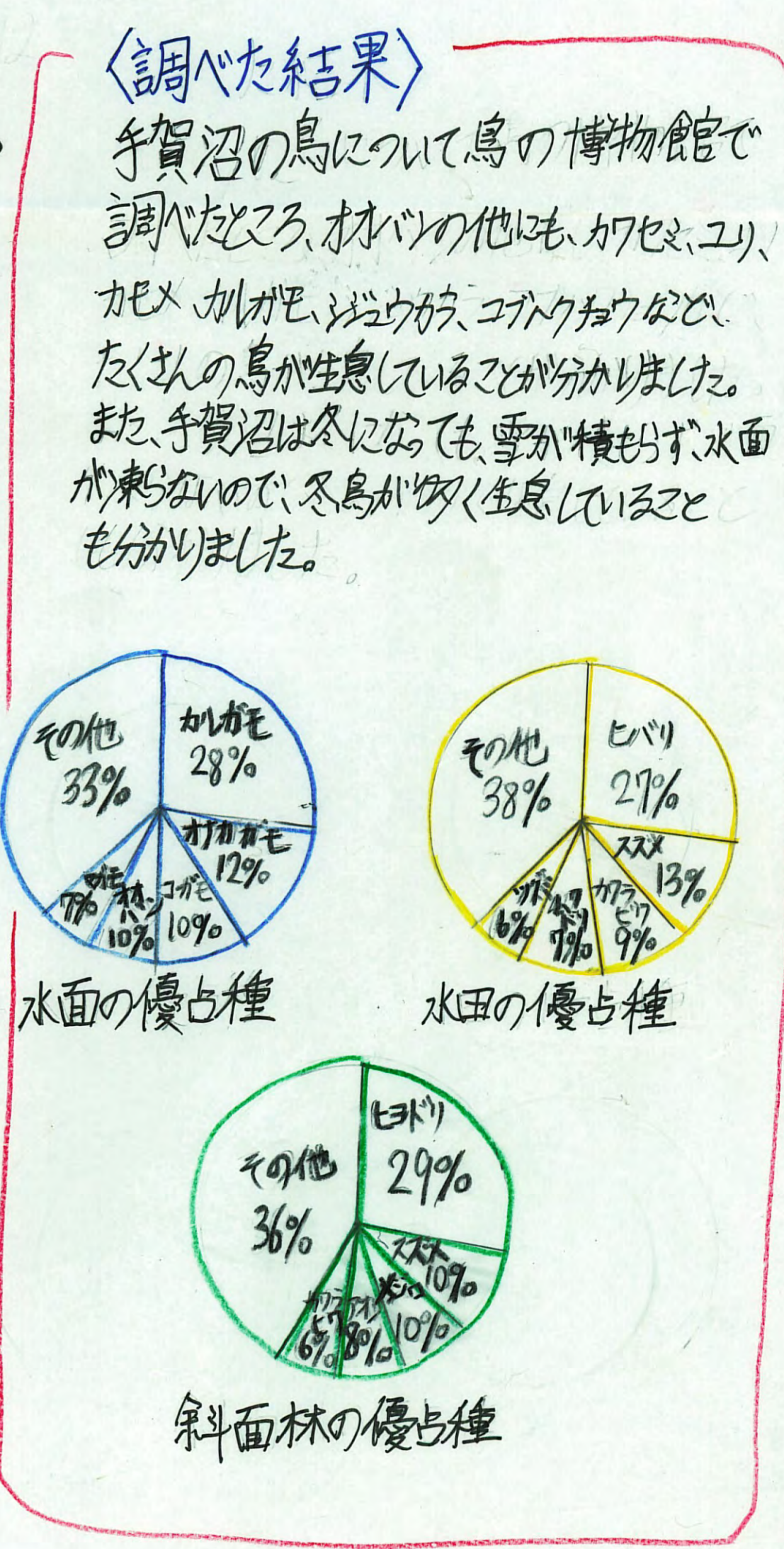
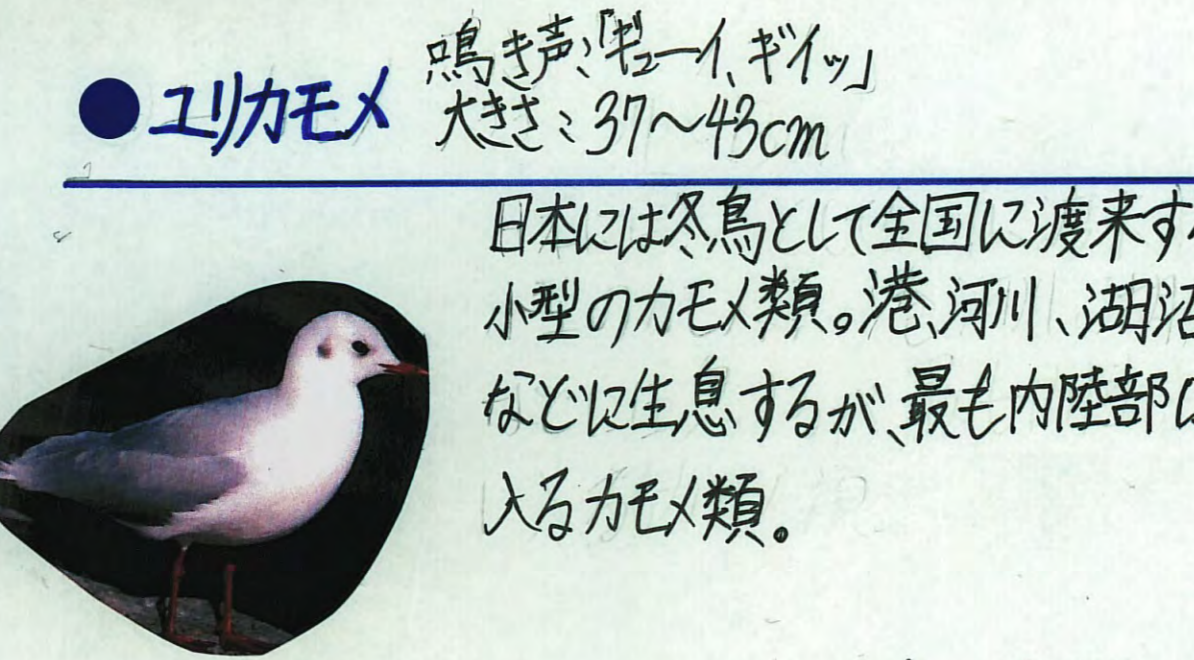
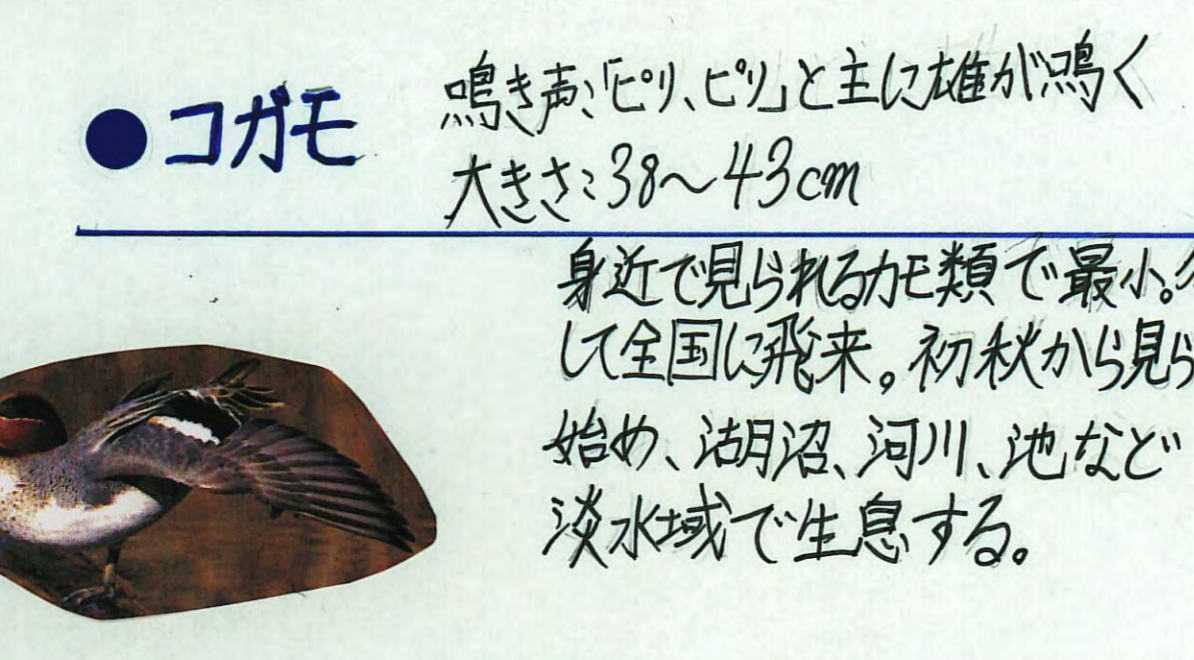
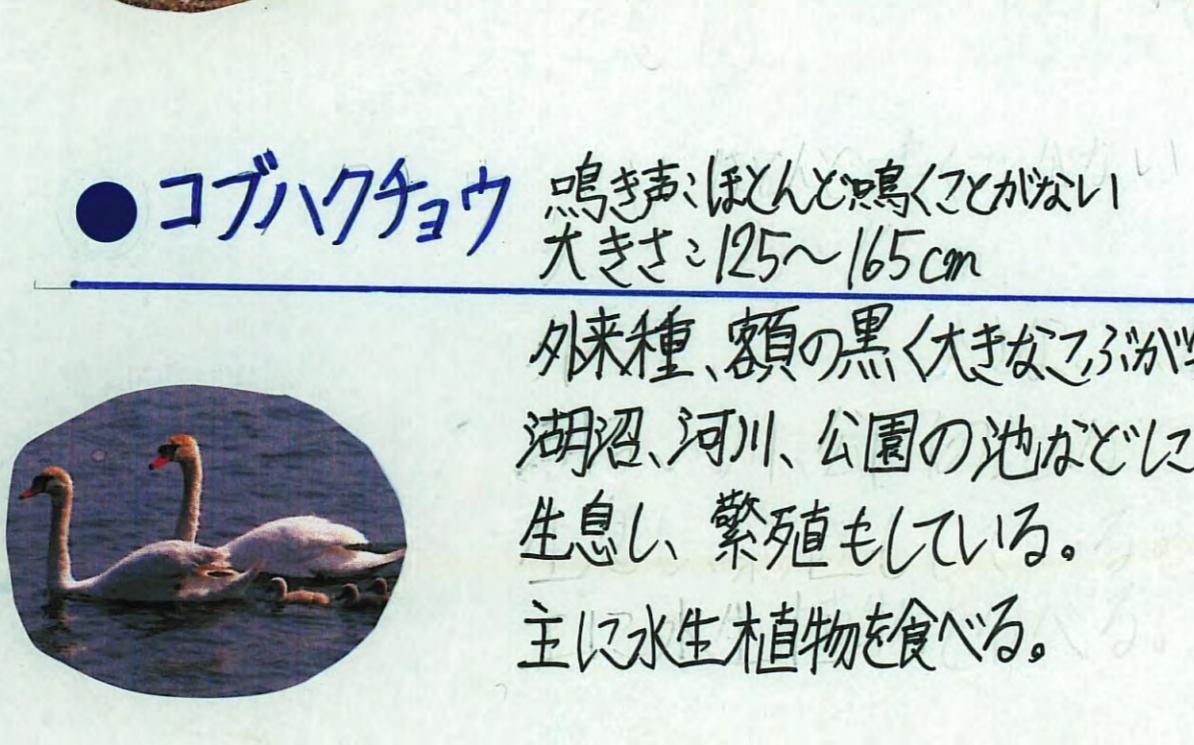
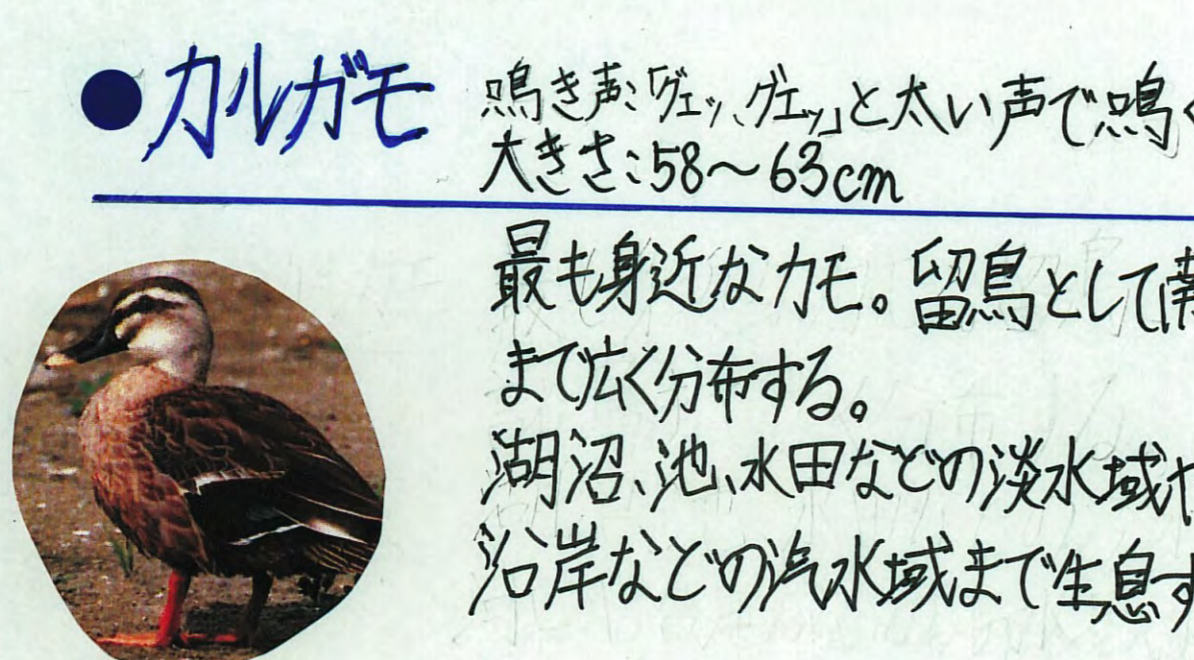
項目	説明
面積	65km ² (伊勢沼だけ9.6km ²)
周囲の長さ	38km (伊勢沼だけ16.7km)
平均水深	0.8m (伊勢沼1.9m、露溝4.0m)
最大水深	3.8m
貯水量(水量)	560万m ³ (伊勢沼2,900万m ³ 、露溝850万m ³)
水の滞留日数	13.9日 (水は手賀沼と通溝(伊勢沼)で)
流域市町村	松戸市、柏市、流山市、我孫子市、鎌倉谷市、印西市、沼南町、白井町、本郷町の9市町村
流域面積	148.85km ²
下水普及率	61.5%
COD	25mg/l (伊勢沼: 12mg/l)
流域人口/排水量	820人 (伊勢沼: 245人)
水生植物の様子	本手賀沼には現在、ヨシ原とハス群落のみが生息し、水草は生息していない。
水生動物の様子	本手賀沼に生息する代表的な水生動物は、コイ、ゲンゴロウガ、モツガなどの魚類やテナガエビなど。



留鳥又は漂鳥としてほぼ全国に分布し、鳥獣害では害鳥が多い。山地、低地の斜面林、公園、河川敷、草原などに生息し、木の皮や昆虫を食べる。灰色の背に黒い頭、白の腹に喉から胸の黒いアザの模様が特徴。繁殖期以外は他のカワセミと群れで過ごし、メダカ、エビなどの混群を良く見られる。



「水面を馬区けるオオバン」
オオバンのあしには、木の葉のような水かきがある。この水かきで素早く水面を馬区けることができる。



参考資料
鳥の博物館 手賀沼の鳥探鳥ガイドブック
発行日 2022年4月17日 第2版
発行 舟津堂
編集 創立50周年事業実行委員会